

令和2年度

経営発達支援計画 事業評価報告書

令和3年2月19日

【評価基準】

- A：目標値が達成できており、効果が認められるもの、または期待できるもの
- B：目標値がおおむね達成できており、ある程度の効果が認められるもの、または期待できるもの
- C：目標値を大きく下回っており、取り組み方法の見直しが必要なもの
- D：計画が実行されておらず、評価ができないもの（計画そのものの見直しが必要なもの）

東白川地区商工会広域連携協議会



- ・ 埴 町商工会
- ・ 棚倉町商工会
- ・ 矢祭町商工会
- ・ 鮫川村商工会



○事業評価報告書 もくじ

I. 地域の経済動向調査に関すること . . . P 1

II. 経営状況の分析に関すること . . . P 2

III. 事業計画策定支援に関すること . . . P 3

IV. 事業計画策定後の実施支援に関すること . . . P 5

V. 需要動向調査に関すること . . . P 6

VI. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること . . . P 8

地域経済の活性化に資する取り組み . . . P 10

経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み . . . P 11

その他実施内容 . . . P 12

まとめ . . . P 13

事業評価検討委員会名簿 . . . P 13

実施内容と自己評価

(1) 経営発達支援事業の実施期間
令和2年4月1日～令和3年3月31日

(2) 経営発達支援計画の実施内容

I. 地域の経済動向調査に関すること

計画の概要

①各種統計調査資料の活用による経営実態の把握と事業所巡回時のヒアリングによる景況調査の実施

●実施内容

- ・福島県商工会連合会が実施する中小企業景況調査を郡内15事業者に対して4半期に1回、延べ60回実施した。
- ・業種は、建設業4件、製造業4件、小売業5件、サービス業2件。
- ・調査項目は①売上高の推移、②資金繰り・受注額・採算・従業員確保等の経営状況、③新規設備投資の状況、④経営上の問題点、⑤業況についてのコメントについて。
- ・全国及び国の景況調査資料を活用し経済動向を把握し、東白川の調査結果と比較した。

●自己評価

- ・計画どおりの目標件数を達成することができた。
- ・巡回による聞き取り調査を行い、より細かな経営課題を把握できるように努めた。また、事業者ごとの経営課題に対応する各種セミナーへの参加推進等に活用できた。
- ・調査結果は、全国及び県が公表している景況調査資料と一緒に埴町商工会ホームページの「経営発達支援事業」のページで公表（他町村商工会HPにはリンクを作成）するとともに、事業者が事業計画の策定をする際に活かすことができる基礎データとして活用。

（事業計画策定件数については、「Ⅲ. 事業計画策定支援に関すること」の項目参照）

《景況調査件数(延回数)》

	目標	実績
埴 町	5(20)	5(20)
棚倉町	5(20)	5(20)
矢祭町	3(12)	3(12)
鮫川村	2(8)	2(8)
合 計	15(60)	15(60)

評価委員による評価

I-①

	A	B	C	D
評価	6	2	0	0

(評価委員コメント欄)

- 調査をした報告だけでなく、調査した結果、今後の対応まで報告すると良いのではないか。
- 目標とともに述べ回数もしっかり実施している。
- 目標達成している。まだ期待できる、したい。
- 事業所の困りごとに対して手を差し伸べる事業で良いと思う。
- 継続した取り組みとなることを期待します。
- 各町村の調査事業所の業種も分かると思います。
- 郡内の景況を判断する上で有用な調査である。
- 事業者には調査結果を是非活用してもらいたい。
- 調査の数は立派である。
- 結果をの動に活用するか、HPはなかなか見ない。
- 各種セミナーへの参加推進に活用できたことが良かった。
- 調査件数としては達成、その後のデータ活用に期待

実施内容と自己評価

Ⅱ. 経営状況の分析に関すること

計画の概要

- ①経営セミナー（個別相談会）による経営分析
- ②「ネット de 記帳」の経営分析システム活用による経営状況の把握

●実施内容

①個別調査・分析

・経営革新計画策定個別支援時の経営分析
2件（詳細はP3参照）

・その他の個別調査・分析

- i) 持続化・いきいき補助金申請時の分析 33件
- ii) 個別相談(専門家連携)による分析 3件
- iii) 中小機構勉強会(事業承継の案件)時の分析 5件
- iv) 事業継続力強化計画策定支援時の分析 18件
- v) その他(ものづくり補助金、先端設備導入計画等) 24件

《①個別調査・分析件数》

	目標	実績
埴町	10	12
棚倉町	10	47
矢祭町	5	6
鮫川村	5	4
合計	30	69

②商工会の会計システム「ネット de 記帳」を利用している事業者に対して、会計データを経営分析システムに取り込んで財務状況を把握するための資料を作成し、それに基づいてアドバイス等を行った。

《②ネット de 記帳経営分析数》

	目標	実績
埴町	8	27
棚倉町	10	28
矢祭町	6	10
鮫川村	6	14
合計	30	79

●自己評価

①事業者への日々の巡回等の支援や専門家派遣による分析により支援先の経営状況を深く把握しながら取り組めた。また、セミナー開催後や実践型の勉強会時に個々の事業者の経営状況分析に取り組み、事業計画の策定等に活用することができた。引続き次年度においてもセミナー及び経営指導員による経営分析を中心に進めていく予定である。

②「ネット de 記帳」を活用している支援先と経営状況や財務分析の結果を共有しながら融資や販路拡大及び利益確保の相談支援ができた。今後も継続的な支援を行っていく。

評価委員による評価

Ⅱ-①

	A	B	C	D
評価	5	3	0	0

(評価委員コメント欄)

- 申請、個別相談等の実施が商工会館で多く見受けた。
- 事業者の経営状態をきちんと把握して、実践の指導勉強が必要と思う。
- 事業者にとってはよい出来と思う。
- 事前に資料配布が行われましたが、各町村の実施事業所も教えていただけると、もっと評価の判断につなげられる。
- 地域に根差した相談指導など引き続きお願いしたい
- 実績は良い。
- 経営状況分析の結果を有効に利用してほしい。
- セミナーは大変良い。
- 町村の実績の差が気になる。

Ⅱ-②

	A	B	C	D
評価	6	2	0	0

(評価委員コメント欄)

- 目標値を大きく上回り努力している。
- 経営分析が必要。
- 経営者が主体となって記帳を行うことで経営者自らが判断でき、よい取り組みと思う。
- 商工会に頼り過ぎない経営者の育成を。
- ネット de 記帳の活用を推進していただきたい。
- 実績良好、続けて欲しい。
- 実績の数が増えて良い結果である。

Ⅲ. 事業計画策定支援に関すること

計画の概要

- ①経営分析を行った事業者に対する事業計画の策定支援
- ②セミナーと個別相談会の実施をきっかけとした事業計画の策定支援
- ③経営革新計画の認定に向けた支援

●実施内容

①巡回訪問や窓口相談のヒアリングの際に、経営課題解決のための計画策定を提案し、意欲的な事業者の掘り起こしを行った。また、中小機構と連携しながら経営計画づくりを支援した。大きな成果として事業継続力強化計画の策定を支援し、18件の申請承認。

→18件（内訳：埴町5件、棚倉町11件、矢祭町1件、鮫川村1件）

②経営セミナー「今すぐできる！攻めと守りの経営術」（8/27 夕方の部、夜の部）

・新型コロナウイルスの感染、自然災害、取引先の倒産等に負けない会社づくりをテーマとしてセミナーを開催し、講師による個別相談を関連付けて実施した。

コロナ時代の「売上回復・利益アップ塾」（全2回 10/6, 10/13）

・今すぐできる売上回復・利益アップの具体策やWEB・プレスリリースを活用したPRセミナーを開催し、講師による個別相談を関連付けて実施した。

③経営革新計画の策定を2件支援し、1件の申請。※うち1件（棚倉町）は次年度申請予定。

→1件（矢祭町1件）※R3.2.17提出済（R3.4月承認予定）。

●自己評価

①巡回訪問や窓口相談、セミナー・勉強会をきっかけに、下記の作成支援を実施した。

- ・持続化補助金申請時の計画書作成（28件）
- ・いきいき補助金申請時の計画書作成（2件）
- ・事業承継に際しての計画作成支援（5件）
- ・先端設備導入計画作成支援（2件）
- ・もの補助申請時の計画書作成支援（7件）
- ・経営改善に向けた計画書作成支援（17件）
- ・事業継続力強化計画策定支援（18件）

《① 事業計画策定支援》

	目標	実績
埴 町	10	12
棚倉町	10	62
矢祭町	5	2
鮫川村	5	3
合 計	30	79

補助金申請時の計画が多いが、今年度は事業承継計画、事業継続力強化計画の支援実績もあり次年度以降も事業計画策定の支援をしていく。

Ⅲ-①

評価	A	B	C	D
	4	4	0	0

（評価委員コメント欄）

- 棚倉町が突出して実績値が高い
- 巡回訪問等、コロナでは難しいかもしれない。
- 巡回訪問回数を増やしてみてもいい。
- 各種セミナーは事業発展のためであるので、参加者を増やし、意欲の醸成を図っていただきたい。
- 後継者不足という課題があるので、引き続き支援をお願いしたい。
- 多くの事業者に言及すると良い
- 町村の差が気になる。

Ⅲ-②

評価	A	B	C	D
	7	0	1	0

（評価委員コメント欄）

- 策定支援については各町村によりバラツキがある。
- 今年度コロナ特に補助金申請が多く、今後も支援を。
- 村内事業所は商工会頼みの部分が多いので、支援いただければありがたいです。
- コロナ禍におけるテーマとしてタイムリーだったと思う。引き続き相談者への支援をお願いします。
- 目標数を上げて良いと思う。
- 町村によって差がある。
- 実績が良い結果です。

実施内容と自己評価

②参加者数・個別相談数ともに、目標数を達成でき、個別相談については、セミナー後に声掛けを行い、相談者の増加に結びつけ、支援数が増えたことは良かった。セミナー参加者からは「YouTubeへの興味があり、参考になった」や「売上アップのヒントになった」等の前向きな声があり、個別相談では事業継続力強化計画や経営革新計画の策定支援や認定に繋げることができた。次年度も引き続き支援をしていく予定である。

《②経営セミナー》

	目標	実績
セミナー(回)	1	全2回
参加者数(人)	15	33(46)
個別相談(人)	5	15(21)

※()は延べ参加人数

《③経営革新計画策定支援》

	目標	実績
基町	1	0
棚倉町	1	0
矢祭町	1	1
鮫川村	1	0
合計	4	1

③経営革新計画の策定支援については、売上回復・利益アップ塾の後に個別相談を希望した4事業所の経営戦略計画策定の支援を行った。そのうちの1事業所(矢祭町)について経営革新計画の申請支援となった。
(2月申請→4月頃には認定見込み)

評価委員による評価

Ⅲ-③

評価	A	B	C	D
	1	5	2	0

(評価委員コメント欄)

- 事業再構築補助金も実施されるので、その中から革新的事業が生まれる可能性があるのではないかと。
- コロナの中ではよくできた。
- 策定支援を今後も支援して欲しい。
- あくまでも希望者があつての発動であるため、挙手した事業所に支援いただければよいと思う。
- 意欲的な事業者の掘り起こしに引き続き努めてもらいたい
- 大変素晴らしい。
- 1事業所が認定されることができて良かった。
- 計画策定のメリットより、策定しないことを選択する理由が不明(取組方法にも問題が?)

IV. 事業計画策定後の実施支援に関すること

計画の概要

- ①経営指導員の定期的なヒアリングによる支援
- ②経営に関する各種セミナーの開催

●実施内容

①事業計画を策定した事業者に対して、その後の実行力を上げるために、巡回訪問や窓口対応でフォローアップを行った。

②各種セミナー・相談会を下記のとおり開催した。

- ・金融相談会「一日公庫」年2回、各商工会で実施。
(日本政策金融公庫との連携)
- ・新型コロナウイルスの影響による金融相談(随時)
※コロナマル経(融資斡旋)31件
塙町12件、棚倉町15件、矢祭町2件、鮫川村2件
- ・SNS活用セミナー
R3.3/5(金)～8(月)視聴型WEBセミナー(予定)
▷Googleマイビジネスの活用方法やコツ
▷当広域内事業所のSNS活用事例紹介など

●自己評価

①経営計画策定を支援した事業者に対して、計画の進捗状況の確認や金融相談、専門家による継続指導や補助事業実績書類の作成及び事業計画の見直し等フォローアップを行った。今後も継続してフォローアップ支援を実施していく。

②経営に関する各セミナーについては、新型コロナウイルスのため目標数の開催ができず、個社支援の対応となった。特に、新型コロナウイルスの影響による売上減少(資金繰り悪化)等の金融相談が多く、コロナマル経として31件の斡旋を行った。
また、来月開催のセミナーは非接触型のセミナーとしてWEB開催を企画し、今後も状況に合わせた実践的な支援を取り組みフォローアップに繋げたい。

《①計画作成後のフォローアップ支援事業所》

	目標	実績
塙町	10	12
棚倉町	10	62
矢祭町	5	2
鮫川村	5	3
合計	30	79

《②セミナー等の開催数》

	目標	実績
税務セミナー	1	0
労務対策セミナー	1	0
経営(SNS)セミナー	1	1
金融相談会	8	8
合計	11	5

※税務・労務は個別対応

IV-①

評価	A	B	C	D
	6	2	0	0

(評価委員コメント欄)

- 大体支援している。
- 巡回訪問が必要
- 支援がほしい事業所に手を差し伸べている。継続的な活動に期待します。
- きめ細やかなフォロー支援をお願いする
- 町村の差をできるだけ少なくする。
- フォローアップが大事である。頑張してほしい。
- 昨年、一昨年前に計画策定した事業所も支援の対象にすべきではないか。

IV-②

評価	A	B	C	D
	2	3	3	0

(評価委員コメント欄)

- もう少しセミナー等の回数が欲しい。コロナでは無理か？
- セミナーは実践的な支援が必要。
- コロナ禍でもあり経営相談も多くなっている中での活動、お疲れさまです。
- コロナ禍においてセミナー中止は仕方がない。
- Web開催や巡回訪問等での対応など工夫が必要である。
- コロナの影響による状況下でよくやったと思う。
- コロナ禍での事業は大変である。
- Web開催を企画しているとのこと、今後の開催方法、支援の取り組みに期待します。
- 今年度実施できなかったセミナーにおいて、Webセミナーの対応を増やすことを検討されたい。

V. 需要動向調査に関すること

計画の概要

- ①各種統計調査等資料の活用による調査
- ②物産展出店時や観光商業・宿泊施設での需要動向調査
- ③産業サポート白河との情報交換の実施

●実施内容

- ①業界動向、業種別の特性、市場規模、事業性評価等が把握できる「業種別審査辞典」の活用と併せて、リーサスや j STAT MAP 等の Web システムを活用しながら事業者支援にあたった。
- ②大規模商談会（国際ファッション OEM）への出展支援を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により商談会出展を中止となったため未実施。
また、各物産展についても新型コロナウイルスの影響により中止や出展を見合わせており、未実施。
- ③産業サポート白河の職員と情報交換をして、県南地域の企業の情報収集に努めた。

●自己評価

- ①「業種別審査辞典」の活用と Web システム等も併用しながら情報を集めることで、経営計画を作る際の外部環境等の把握がスムーズになり、また計画の内容に整合性がとれ経営方針の見直しにつながる効果があった。今後も職員間で共有してより積極的な活用を心掛ける。
- ②商談会（物産展）参加時の需要動向調査については、新型コロナウイルスの影響により参加中止のため B to B 及び B to C の調査はできなかった。需要動向調査は、商品開発・販路拡大等の活用となるため、次年度は調査を実施できるようにしたい。
- ③情報交換の実施により、人手不足解消への対策としてのセミナー開催周知や合同企業説明会への周知及び情報共有ができた。また、創業支援への掘り起こしとして「起業塾」や「女性のためのプチ企業セミナー」の参加状況等や地域の景況・空き店舗等の情報共有ができた。次年度も、情報交換を図りネットワークを繋げていきたい。

V-①

	A	B	C	D
評価	2	5	0	0

(評価委員コメント欄)

- コロナ禍であるが今後も継続が必要
- RESAS データがもっと最新のものであれば支援もスムーズですよね。伴に経産省に働きかけていきましょう。
- RESAS 活用(分析)には職員のスキルアップも必要であると思う。
- 適格な情報収集をし、事業者支援にあたってほしい。
- 審査辞典というのは分からないが、多いに活用してほしい。

V-②

	A	B	C	D
評価	0	3	3	1

(評価委員コメント欄)

- 今後も継続が必要。
- コロナ禍であり致し方ないですね。
- コロナ禍における需要動向の調査方法を検討願う。(Web 活用等)
- 新型コロナのため仕方がない。
- コロナ禍でやむを得ない。
- 他取り組みでの調査も検討、準備作業等あったので、C

実施内容と自己評価

《需要動向調査関係》

		目標	実績
B to C 調査アンケート件数(件)		100	未実施
B to B 調査アンケート件数(件)			未実施
産業サポート白河との情報交換(回)		2	3
情報提供事業者件数(件) ※合計は経営計画策定支援先の 目標件数と同数	小売業	6	16
	飲食業	6	12
	宿泊業	6	0
	製造業	6	25
	建設業	3	9
	その他 サービス業	3	17
	合計	30	79

評価委員による評価

V-③

評価	A	B	C	D
	3	5	0	0

(評価委員コメント欄)

- 今後も継続して欲しい。
- 今後も継続が必要
- コロナ禍で不安が多い中、情報交換などできれば事業所も落ち着きを取り戻せると思う。今後も継続した機会の創出を期待いたします。
- 産業サポート白河との連携、情報収集を行い、事業者支援に役立てていただきたい。
- 起業に関することは大事だと思う。
- 情報交換は全てにおいて必要だと思います。
- 産業サポート白河との情報交換、どのように活用されていくのか今後に期待します。

実施内容と自己評価

VI. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

計画の概要

- ①小規模事業者の物産販売への参加等支援
- ②小規模事業者の商談会への参加等支援
- ③IT活用支援

●実施内容

- ①小規模事業者の物産販売への参加等支援については、物産セットの企画・PR・販売（埜）のみ。その他については新型コロナウイルスの影響のため、物産販売の中止や移動自粛により参加支援できなかった。
- ②縫製業者4社を選定して、新たな販路開拓先を獲得のための支援として、東京ビッグサイトで開かれるアパレル業界の大規模商談会（国際ファッションOEM）への出展支援を予定していたが、新型コロナウイルス感染リスクの懸念もあり商談会参加を中止とした。
- ③IT導入に意欲的な事業者を選定し、ホームページやSNS、ECサイト等の導入と活用スキル獲得のための個別サポート支援を実施した。

●自己評価

- ①物産販売への参加支援については、新型コロナウイルスの影響により物産展の中止等も多く、参加支援はできなかった。
- ②商談会への参加支援が中止となったのは残念である。新規取引先の獲得に向け、近隣市町村の同業他社へ事業者と職員が同行し、新規取引先への安心感や支援事業者の技術力の高さと事業主の人柄をPRすることで、新規の取引先が獲得できたのは良かった。

《①物産販売支援件数》

		目標	実績
埜 町	実施回数	2	2
	出店者数	5	16
	顧客獲得数	15	63
棚倉町	実施回数	2	0
	出店者数	5	0
	顧客獲得数	15	0
矢祭町	実施回数	2	0
	出店者数	3	0
	顧客獲得数	9	0
鮫川村	実施回数	2	0
	出店者数	3	0
	顧客獲得数	9	0

評価委員による評価

VI-①

評価	A	B	C	D
	0	3	5	0

(評価委員コメント欄)

- 支援の継続をして欲しい。
- このご時世しかたありません。1件だけでも奇跡です。
- アフターコロナを見据えて対応を検討願う。
- コロナのため。

VI-②

評価	A	B	C	D
	0	2	4	1

(評価委員コメント欄)

- 再度実施の方向でお願いしたい。
- 郡内は縫製会社が多いため今年度事業計画を次年度も引き続き行い、支援いただきたい。
- アフターコロナを見据えてPRに努めていただきたい。
- コロナのため仕方ない。
- 新規取引先が獲得できたのは大変素晴らしい。
- コロナ禍の中で評価できない。

実施内容と自己評価

③前年度のSNSセミナーが好評であったこともあり、本年度は実践的な取り組みとするために個別相談を実施した。そのため、昨年度よりも活用者数は減少したが、LINEを活用したりピーター増強、InstagramやFacebookを利用した商品宣伝、Googleマイビジネスの自社ページ整備など、より実践的で顧客獲得に繋がる支援を行った。

他にも、通知や商品宣伝に割いていた費用や時間を削減しながらも、従来以上の反響を呼ぶ結果になるなど、副次的な効果が表れたケースもあった。

IT導入支援については、次年度も事業所のニーズに合わせた支援として、業種を問わず支援を行えるようにし、地域におけるIT利活用を更に浸透させていきたい。ただし、SNSの特性上BtoCに強いということもあり、BtoB向けの活用案件の掘り起こしが難しいという点は、依然として課題が残る結果となった。

《③-1 IT活用支援数(BtoC)》

		目標	実績
埴町	活用者数	4	4
	顧客獲得数	20	72
棚倉町	活用者数	4	6
	顧客獲得数	20	231
矢祭町	活用者数	2	1
	顧客獲得数	10	3
鮫川村	活用者数	2	2
	顧客獲得数	10	97

《③-2 IT活用支援数(BtoB)》

		目標	実績
埴町	活用者数	4	0
	顧客獲得数	8	0
棚倉町	活用者数	4	0
	顧客獲得数	8	0
矢祭町	活用者数	2	0
	顧客獲得数	4	0
鮫川村	活用者数	2	0
	顧客獲得数	4	0

評価委員による評価

VI-③

評価	A	B	C	D
	1	4	2	0

(評価委員コメント欄)

- SNSセミナーを強化し、実施して欲しい。
- 業種を問わず支援が必要
- 広域協議会会報にも掲載されていましたが、個人経営者にはありがたい支援策と思われる。ぜひ足を運んで支援いただきたい。
- コロナ禍に関わらずIT活用は有用だと考える。
- 引き続きセミナー等により利用者の拡大に努めてほしい。
- 業種によって顧客数に差が出るのは仕方ない。
- IT利活用は大事である。
- 今後はITの利活用は必要である。
- BtoBについて取組方法の見直しは必要。力を入れていただきたい。

実施内容と自己評価

地域経済の活性化に資する取り組み

計画の概要

- ①地域経済活性化（観光物産振興）のためのプロジェクト委員会の実施
- ・観光プロモーションの展開
 - ・東白川ブランド商品の提案と開発、販売支援

●実施内容

①地域経済活性化、関係機関間の情報の共有と連携体制について、下記のとおり実施した。

町村名	内 容
埴町	▷飲食店応援 HP 制作「はなわ美味しいもんストリート」（青年部） ▷ダリちゃん「のぼり旗・エコバッグ」制作（女性部） ▷ふるさと産業おこし連絡協議会（年1回） ▷埴町サイクルツーリズム推進協議会（年2回）・実行委員会（年3回）
棚倉町	▷棚倉応援プロジェクト「エール飯」 ▷棚フォト青年部事業 ▷交通活性化協議会への参画 ▷町生活支援体制整備事業「くらしの便利手帳」
矢祭町	▷やまつり元気祭り 2020 打合せ会・実行委員会 ▷矢祭町暮らし応援商品券発行 ▷オンライン抽選会（青年部）
鮫川村	▷ふる里振興協議会（2回） ▷うまいものまつり実行委員会（1回）

※東白川サイクルツーリズム推進協議会は4町村協同で行っている。

※その他、各町村とも随時行政担当課との情報交換や意見交換を行っている。

●自己評価

①地域活性化事業については、例年各町村単位での活動が活発に実施されていたが、新型コロナウイルスの影響により事業の中止（自粛）となった。コロナ禍の中で、活性化事業の取り組みとしてオンライン等を活用した事業実施ができた。

各町村とも行政等との情報交換、意見交換の場や機会を設けることが難しい状況であったが、新型コロナウイルス対策支援等の情報共有を深めた。

当委員会の中でも情報交換・ご指導を次年度へ活かしたい。

評価委員による評価

①地域経済活性化、関係機関間の情報の共有と連携体制

評価	A	B	C	D
評価	2	5	0	1

(評価委員コメント欄)

- 今年度の評価はコロナ禍の中では難しい。
- コロナの中であるが今後も必要。各町村での活動。
- 次年度ともに頑張りましょう。
- 地域経済活性化のため郡内連携、行政との連携、情報の共有は必要である。
- コロナ禍の中で中止等も多いが、規模縮小で実施しており、取り組みは良かった。
- サイクルツーリズムは大変すばらしく、実行内容は各町村の意向をよく取り入れてほしい。
- コロナ禍の中で良く頑張ったと思います。

実施内容と自己評価

経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

計画の概要

- ①他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等獲得のための情報交換に関すること
- ②経営指導員等の資質向上等に関すること

●実施内容

①支援ノウハウ等獲得のための情報交換

- ・日本政策金融公庫との経営改善貸付推薦団体連絡協議会（11月1日）
- ・東北税理士会白河支部や白河税務署等との税務援助推進協議会（1月22日）
- ・地区内経営指導員と経営支援員による全体会。（年1回）
- ・税理士、社労士、中小企業診断士等の専門家との連携（随時）

②資質向上に繋がる取り組み

- ・経営支援マネージャー研修（中小企業大学校）の受講（5日間：1回、3日間：1回）
- ・税務財務診断〔基礎研修Ⅰ〕（中小企業大学校）の受講（20日間）
- ・福島県商工会連合会主催による経営指導員資質向上研修会への参加（10月7日）
- ・法定経営指導員e-ラーニング講習（年1回）
- ・全国連商工会連合会の経営戦略Web研修（年1回）
- ・中小機構との連携による経営指導員向けインターバル勉強会の開催（年4回）
- ・店舗向けホームページ作成サービス「グーペ」操作研修会（年1回）
- ・職員向け税務講習会（年1回）
- ・県中、県南地区の職員協議会「経営革新計画作成支援」研修会（10月2日）
- ・専門家との同伴巡回による経営分析ノウハウの獲得（案件ごとに随時）
- ・当協議会が行う経営支援会議（経営指導員）での案件共有による支援ノウハウ獲得（月1回）
- ・当協議会が行う業務管理会議（経営支援員）での案件共有による支援ノウハウ獲得（月1回）

●自己評価

- ①他の支援機関や専門家、職員同士の連携を活発に図り、概ね目標どおり支援事業の円滑な実施に繋げることができた。次年度以降も積極的な連携を図って、事業者支援の基盤強化に繋がるように取り組みたい。
- ②中小機構と連携して、経営指導員が実際の事業承継計画づくりの案件を取り上げたインターバル勉強会など、より実践的な内容の勉強を企画し、職員の資質向上及び意識向上に取り組んだ。また、広域主任経営指導員の経営支援マネージャー研修受講による支援ノウハウの獲得やマネジメント力向上に取り組むなど、目標以上の実績を上げることができた。

評価委員による評価

支援力向上①に関する評価

評価	A	B	C	D
	3	5	0	0

（評価委員コメント欄）

- 地域を超えた職員同士の連携を大事に。
- 事業所支援のためよろしく申し上げます。
- 事業者支援のため、引き続き他の機関との連携を深めていただきたい。
- 実施内容、回数はすばらしいと思いますが、結果がどうなっているのか、良くなっていると思う。

支援力向上②に関する評価

評価	A	B	C	D
	4	4	0	0

（評価委員コメント欄）

- 地域を超えた職員同士の連携を大事に。
- 事業所支援のためよろしく申し上げます。
- 職員の資質向上に勤め、事業者支援に取り組んでいただきたい。
- 実績と結果が噛み合っていれば良い。

その他実施内容

●新型コロナウイルス感染症対策支援

新型コロナウイルス感染症に対する支援について、国・県・各町村の施策への申請支援を下記のとおり実施した。

【国・福島県】

実施（事業）名	支援事業所数				
	塙町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計
持続化給付金、家賃支援給付金（国）	32	135	46	45	258
Go To トラベル、Go To Eat（国）	4	7	1	2	14
飲食店前払利用券（県）	8	32	1	7	48
協力金・給付金・支援金・交付金（県）	29	64	10	45	148
固定資産税の軽減措置支援（各町村）	4	10	5	6	20

【各町村】

町村名	実施（事業）名	事業所数
塙町	塙町エール（応援）給付金	208
	塙町新しい生活様式に取り組む中小企業応援金	291
	塙町エール（応援）商品券	190
棚倉町	臨時給付金	68
	たなぐら飲食クーポン券	73
矢祭町	矢祭町新型コロナウイルス感染症対策経営持続化支援金	88
	矢祭町暮らし応援応援商品券	88
鮫川村	鮫川村事業所給付金	68
	鮫川村地域げんき商品券	107
	鮫川村新生活環境整備応援事業	50

新型コロナウイルス感染症に対する支援としては、様々な業種の事業所が影響を受けており、国・県・各町村の施策情報の提供及び給付金等の申請支援を優先的に実施した。

現在も、福島県より緊急対策の発令が出ており飲食業を始め影響を受けた事業所への給付金申請支援中であり、今後も新型コロナウイルス対策の情報提供及び支援を実施していく。

評価委員による評価

●新型コロナウイルス感染症対策支援

（評価委員コメント欄）

- 各町村により大きなバラツキがある。
- 事業への取り組みありがとうございます。
- 行政とも連携し、各種施策の情報収集にも努め、引き続き事業者支援をお願いしたい。
- 施策が事業者の伝わっていないものがあつた。
- 各事業所、各家庭により色々と異なっているところが多く、施策が難しい面もあつたと思う。
- 補助金等、町村によってだいぶ違っていた。
- コロナ禍の中、申請支援の相談が多く、商工会の役割を果たせた。

ま と め

- 事業実施4年目ということで、これまでの事業の見直し事項を反映しながら、事業実施の企画をしたが、新型コロナウイルスの影響により数値的な目標も達成できない項目もあった。新型コロナウイルスの終息はまだ見えておらず、経営困難になっている事業所に対して全力で支援していく。
- 商談会（物産展）への出展支援事業については、次年度もコロナ禍の状況で首都圏への商談会・物産展の出展支援は参加が難しい状況である。事業者の商品価値や情報を見える化し、取引先の増加や販路拡大に結び付けていけるよう実施していく。
- 事業計画策定支援に関しては、昨年同様の人気講師を招致して、実践的で内容の濃いセミナーを実施し、セミナー後の個別支援に注力したことで、セミナーで学んだことを自社の経営戦略にしやすかったと感じた。事業継続力強化計画については、自然災害等の際の具体的な行動計画まで落とし込んだ計画書を策定し、18件の認定を受けた。また、経営革新計画については申請件数1件ではあるが、売上向上に繋がる支援案件に取り組むことができた。次年度も継続して取り組み事業者の経営力向上に寄与していく。
- 中小機構と連携して、経営指導員が中心となり実践的な事業承継の勉強会を実施し、支援先の事業承継計画策定を行った。事業承継支援に関しては長期的な支援であるが、実際に1件の承継支援ができ、次年度以降も計画的な承継支援を実施していく。
- コロナ禍による国内外の社会構造や経済環境の急激な変化に伴い、事業者支援の在り方にも大きな変革が求められており、今後は経営環境の変化に対応した柔軟性と実効性の高い支援をしていけるよう次年度は実施していきたい。

評価委員による評価

- 今後はコロナ禍での事業ということで実施するので、新しい様式で計画が必要である。人口減少の中でなんとかしたいものです。
- 評価方法について、目標に対しての実績の数値評価は事業上必要なものですが、それだけを気にしていた方もいらっしゃいました。ただ、小さな町村ですので、どの事業所を支援したのかを当該自治体だけでよいので支援事業所名を教えてください。これに伴い、数値だけではない目で評価が行えるものと思われる。ご検討よろしくお願ひいたします。
- コロナ終息に2～3年、経済の回復に3年はかかるという人もいます。ニューノーマル(新しい常態)という言葉もあるが、しばらくはコロナを意識しながら日常生活を送らなければならない。このような中、事業者へのきめ細やかな相談や指導助言により、地域経済の活性化に向け、行政を共に各種施策に取り組んでいただきたい。
- 急激な変化の中、商工会の事業に期待をします。
- コロナ禍で経営指導員としての支援に集中できない状況もあるかと思いますが、能力を活用してほしいです。
- また今後も町との連携をより活発に図っていただきたい。

経営発達支援計画 事業評価委員会名簿

- 委員長 芦田健一（芦田経営デザイン(株) 中小企業診断士）
- 委員 古橋 博（埴 町商工会長） 吉成知温（埴町役場まち振興課長）
立石 誠（棚倉町商工会長） 川瀬浩二（棚倉町役場産業振興課長）
藤田 清（矢祭町商工会長） 古市 賢（矢祭町役場事業課長）
前田勝之（鮫川村商工会長） 星 徹（鮫川村役場農林商工課長）
- オブザーバー 円谷隆行（福島県商工会連合会中通り広域指導センター）

事業評価検討委員会開催状況

<第1回>
日時：令和3年2月19日（金）15：00
場所：埴町商工会館 2階会議室
内容：令和2年度経営発達支援計画
事業の実施報告と評価委員による評価